

# 社会・援護局

生涯

## 最低限度の生活の保障のために、 戦没者遺族等の援護のために

社会・援護局では、生活保護、ホームレス対策など、生活に困ったり、社会から孤立している方々を支援するという社会福祉の「原点」となる制度や、社会福祉士・介護福祉士などの人材の育成・確保対策、地域における支え合い活動の推進など、社会福祉の「基盤」となる制度の企画立案を行っています。

また、戦没者の遺骨帰還等の慰霊事業、戦没者遺族等への援護年金の支給、中国残留邦人への帰国後の生活支援等を行っています。

- 総務課
- 保護課
- 地域福祉課
- 福祉基盤課
- 援護企画課
- 援護課
- 業務課

## 障害保健福祉部

障害者が地域社会で安心して暮らすための総合的な障害者施策の充実に向けて

厚生労働行政の原点は、すべての人が安心して暮らすことのできる社会づくりを行うことです。障害保健福祉部は、障害者の暮らしをサポートすることでそうした社会の実現に取り組んでいきます。また、心の健康づくりが身近なテーマとなっている中、精神保健医療福祉を充実させていくことも重要な役割の一つです。

- 企画課
- 障害福祉課
- 精神・障害保健課

## 障害福祉サービスのさらなる充実

障害福祉サービスについては、これまでの法改正によって、障害児の施設を一元化して利用しやすくなり、相談支援体制の充実・強化などを行いました。

また、障害保健福祉予算は着実に伸びており、平成24年度予算も平成17年度と比較して約2倍となっています。平成24年4月からは、障害福祉サービス費用(報酬)の改定を行い、福祉・介護職員の処遇改善、障害福祉サービスの質の向上を進めています。

## 心のケア

厚生労働省では、うつ病などへの対策として、治療法の向上や、早期発見などに取り組んでいます。

また、東日本大震災ではかけがえのない多くのものが失われ、未だ日常生活に戻れない被災者が数多くいます。大災害の後は、特にPTSD(心的外傷後ストレス障害)の長期化やうつ病の増大などを防ぐための対策が重要であり、心のケアや地域精神保健医療を担う人材の確保等に取り組んでいます。

## 精神障害者の地域生活の実現に向けて

現在、日本には精神障害のある人が300万人以上おり、これは、がん等のいわゆる「四大疾病」よりも多い患者数です。厚生労働省では、退院支援や地域社会で安心して生活していくために必要な支援について、検討を進めています。



障害者と施設職員のふれあいの様子

## 障害者スポーツの推進

日本において障害者スポーツが広まった契機は、1964年の東京パラリンピックです。各国の選手たちが生き生きとスポーツをする姿に、日本の障害者や医療関係者、福祉関係者は深い感銘を受け、障害者スポーツを盛んにしようという動きが高まりました。

平成24年はロンドンオリンピック・パラリンピックが開催される年です。競技レベルも上がり、メダルも期待されることから、より一層、障害者スポーツ振興に取り組んでいきます。



第11回全国障害者スポーツ大会(おいでませ! 山口大会)

## 生活保護

現下の厳しい社会経済情勢を受けて、生活保護受給者数は過去最高を突破し、現在も増加している状況です。生活保護制度は、国民の健康で文化的な最低限度の生活を保障する「最後のセーフティネット」ですが、経済的な支援に加えて、生活保護受給者の自立を助長するという観点からの制度運営がますます重要となっており、生活保護受給者の自立・就労支援のための取組を強化しています。

## 第二のセーフティネット施策

失業した人などが、直ちに生活保護に至ることなく、安心して就職活動を行うことができるよう、家賃を補助する住宅手当や総合支援資金の貸付けなどの第二のセーフティネット施策を実施しています。

## 福祉・介護人材確保対策

福祉・介護サービスを担う人材については、依然として、地域や事業所によっては人材確保が困難な状況が続いています。こうした状況を踏まえ、安定的に質の高い福祉・介護人材を確保するため、関係部局と連携しながら、新しい人材の参入促進や定着支援のための取組を実施しています。



## 戦没者遺族等の援護

先の大戦による戦没者の遺族等に対して、国家補償の精神に基づき、援護年金を支給しています。また、戦没者の妻や父母等に、その労苦の慰藉のため、特別給付金等を支給しています。さらに、中国残留邦人の置かれた特別の事情を踏まえ、老後の生活の安定のために生活支援等を行っています。

## 戦没者の慰霊追悼

国の責務である戦没者の御遺骨の帰還に取り組んでいます。毎年8月15日に、政府主催により、先の大戦による戦没者を追悼するため、天皇皇后両陛下御臨席のもと、全国戦没者追悼式を挙行しています。



硫黄島での御遺骨の収容



全国戦没者追悼式の模様

## 戦中戦後の労苦の継承

東京都の九段にある「昭和館」や「しょうけい館」では、戦中・戦後の労苦を後世に伝えるために、歴史的資料や情報を収集、保存するとともに、資料や証言の展示等を行っています。